



西小だより

学校 Web サイト URL <http://nishiurawa-e.saitama-city.ed.jp/>

～ よく学び 笑顔いっぱい 一人ひとりが輝く教育の推進 ～

《 学 校 教 育 目 標 》

—夢がわき 心もはずむ 西小の子—

- ・素直で心豊かな子
- ・進んでくり返し学習する子
- ・ねばり強くたくましい子

大規模災害に備えて

校長 石田 成 夫

雨の多い季節となってまいりましたが、その合間に照りつける日差しには、夏らしい蒸し暑さを感じるようになってきました。しばらくは寒暖の差が激しい日が続きそうです。体が小さいうちは、体温の調節機能も大人ほどには発達していないため、ある程度は服装で調節する必要があります。気温の上昇に伴い熱中症も心配される季節ですので、天気予報を参考に、脱ぎ着しやすい服の準備や、大きめの水筒を持たせるなどの対策と体調管理をお願いします。

さて、5月24日に大規模災害を想定した引き渡し訓練を実施いたしました。当日は多くの保護者の皆様に御来校いただきましたこと、心より感謝申し上げます。この引き渡し訓練が各校で実施されるきっかけとなったのが、2011年3月11日に発生した東日本大震災です。この震災では、地震の他に大きな津波や火災も発生し、1万数千人に及ぶ犠牲者が出ました。



当時、私が勤めていた小学校では、経験したことの無い大きな揺れに、こわくて泣きだした子どもがいたことや校舎の壁に何か所もひびが入ったこと。計画停電で電気が使えない時間があり、授業や放課後の業務に支障が出たこと。一時的にお店から食べ物やトイレトーパー、ガソリンがなくなり、車が使えず自転車で出勤したことなど、生活に大きな影響があったことが今でも鮮明に思い出されます。そして、この震災を教訓として、従来の震災や災害への対応は大きく見直され、少しずつ改良をくり返しながら現在に至っています。

自分ではそれほど昔のことではないように感じますが、ちょうど今年の6年生が震災の翌月以降に生まれた子どもたちとなりますので、現代の小学生にとっては、震災は自分が生まれる前にあったできごとということになります。だからこそ、あの大きな震災を経験していない子どもたちに、震災の怖さを伝えることに大きな意味があります。

東日本大震災以降、日本で発生した震度6以上の大きな地震は30回ありますが、関東地方を震源としたものは1回しかありませんでした。その一方で、南海トラフ地震と呼称される東海地方全域に及ぶ大規模地震の発生は「発生の切迫性が高まってきている（気象庁）」と言われており、日頃から防災意識を高めておくことが重要となっています。

この引き渡し訓練をきっかけとして、御家庭、地域におかれましても、地震や台風をはじめとした大きな災害が発生した際の避難の仕方や連絡方法、防災関係物品や非常食の備えについて改めて話し合い、「いざ」「まさか」の事態に備えていただければと思います。

《いじめ撲滅強化月間》

6月は、さいたま市の「いじめ撲滅強化月間」となっております。本校においても、いじめ撲滅に向けた講話朝会や各学級のいじめ撲滅スローガンづくり、児童会による西小いじめストップ委員会の開催など、全校を挙げていじめの撲滅に取り組みます。御家庭におかれましても、子どもたちの小さな変化に御注意ください。また、気になることがありましたら、学校へ御相談ください。

〔 学校ホームページのトップページに掲載している「さいたま市立西浦和小学校いじめ防止基本方針」が、令和6年度版に更新されておりますので、あらためて御確認ください。 〕